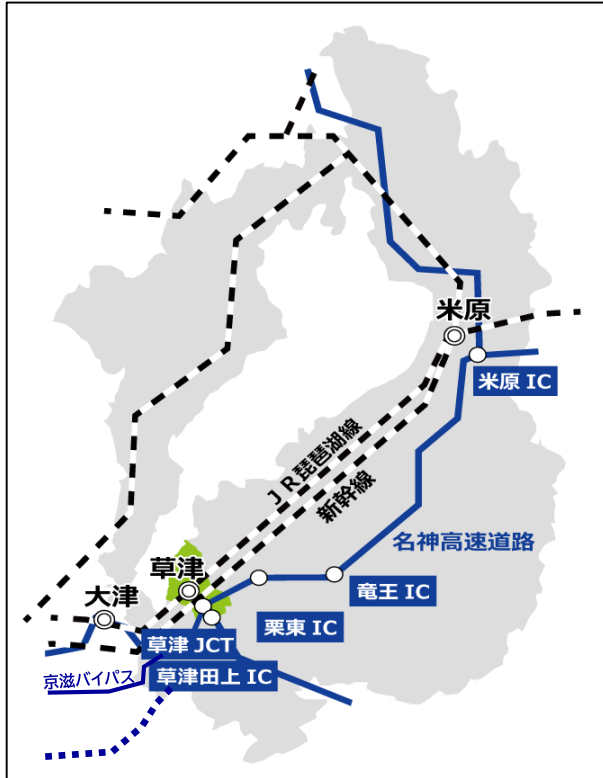


【草津市の取組】

「イノベーション集積拠点」を核とした
新たな「地域産業クラスター」の形成について

1. 草津市の概要



市の中心市街地の上空から。琵琶湖と対岸の比叡、比良の山々を臨む。

琵琶湖のほとりうるおいあふれる環境

滋賀県南東部に位置し、琵琶湖に面する。南北約13.2km、東西約10.9km、面積67.82km²
住基人口 141,704人(R8.4末現在) 世帯数 66,448世帯(R8.4末現在)

京阪神大都市圏への便利なアクセス

JR草津駅⇔JR京都駅 20分

⇔JR大阪駅 50分

JR草津駅 県内乗降客数1位 JR西日本管内25位(54,892人/日:R5)

JR南草津駅 県内乗降客数2位 JR西日本管内29位(50,766人/日:R5)

宿場町として栄えた歴史

東海道と中山道が分岐合流する交通の要衝

東海道五十三次の52番目の宿場町

草津宿本陣は、現存する最大級の本陣



多彩な魅力を感じられるまち

立命館大学びわこ・くさつキャンパス(理工系学部中心 学生数 約14,000人)

大企業のマザー工場(パナソニック、ダイキン、オムロン、ニプロ、タカラバイオ等)

住みよさランキング 近畿圏内2位、全国34位

(「東洋経済新報社 都市データパック 住みよさランキング2026」より)



立命館大学びわこ・くさつキャンパス



パナソニックアプライアンス
草津工場



オムロン草津事業所



都市データパック
2026

2. 滋賀県南部地域における産業集積の状況について(1/2)

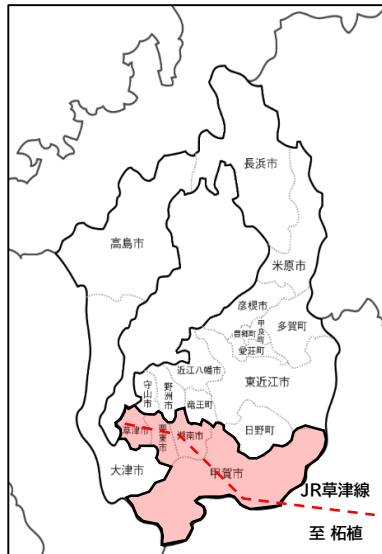
① 知的資源(学術・人材軸)の集積 湖南4市(草津市、栗東市、守山市、野洲市)



	知的資源(学術・人材軸)	概要	所在地
1	龍谷大学	先端理工、社会学、農学部 (仮称)情報学部、(R9.4 に学部新設予定)	大津市
2	滋賀医科大学	医学部 【レンタルラボ:有】	大津市
3	立命館大学	経済、理工、生命科学、薬学、スポーツ健康科学、食マネジメント学部	草津市
4	立命館大学BKC インキュベータ	インキュベーション施設(レンタルラボ、レンタルオフィス)	草津市
5	グラスルーツ インノベーションセンター	コワーキングスペース、オープンファブラボ、レンタルラボ、共用ラボ	草津市
6	県立テクノファクトリー	インキュベーション施設(レンタル工場(試作開発))	草津市
7	県立高等技術専門学校 (テクノカレッジ草津)	職業訓練(ものづくり金属課、服飾デザイン科、住環境施工科、総合実務科、ICT 技術科)	草津市
8	滋賀県工業技術 総合センター	試験研究機関(電子情報、機械システム、有機材料、無機材料、食品、産業デザイン)	栗東市
9	守山イノベーションセン ター(村田製作所)	社外との技術交流や協働開発によるオープンイノベーション STEAM 教育を通じた子ども向け科学体験施設の設置	守山市
10	県立高等専門学校	工業系総合学科(情報系、電気電子系、機械系、建設・環境系) R10年4月開校予定	野洲市

→ JR琵琶湖線沿線に沿って、多くの学術研究機関(10)が集積

② 製造業の集積 湖南甲賀地域(草津市、栗東市、湖南市、甲賀市)

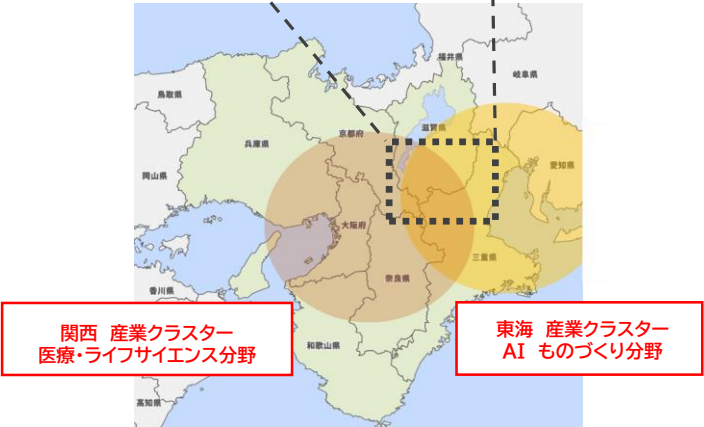
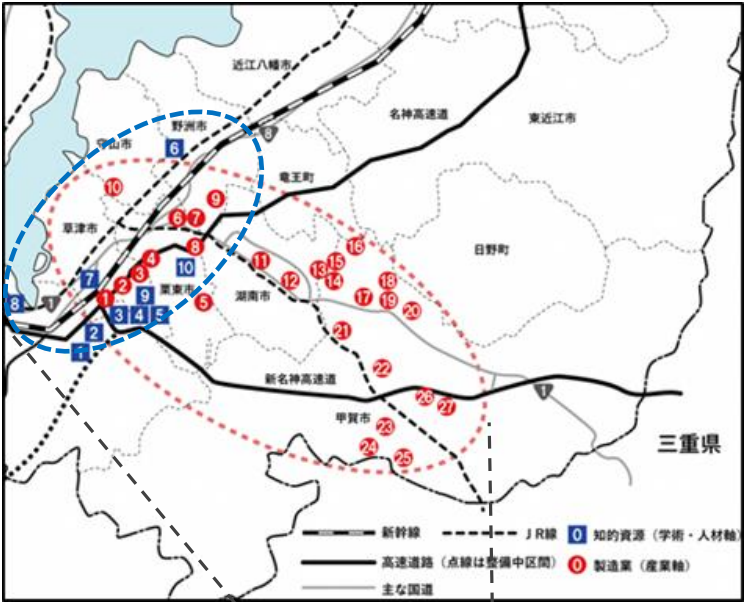


	製造業(産業軸) 工業団地名	所在地		工業団地名	所在地
1	草津住宅工業団地	草津市	15	笹ヶ谷工業団地	湖南市
2	馬場工業団地	草津市	16	八田サテライトパーク	甲賀市
3	山寺工業団地	草津市	17	近江水口テクノパーク	甲賀市
4	山寺第二工業団地	草津市	18	近江水口第2テクノパーク	甲賀市
5	栗東東部工業団地	栗東市	19	水口住宅工業団地	甲賀市
6	栗東新産業地区工業団地	栗東市	20	松尾工業団地	甲賀市
7	栗東中小企業団地	栗東市	21	宇川工業団地	甲賀市
8	栗東ニューテクノパーク	栗東市	22	甲賀西工業団地	甲賀市
9	三上地区工業団地	野洲市	23	甲南第一次工業団地	甲賀市
10	古高工業団地	守山市	24	甲南第二次工業団地	甲賀市
11	石部工業団地	湖南市	25	甲南フロンティアパーク	甲賀市
12	夏見中小企業工業団地	湖南市	26	甲南工業団地	甲賀市
13	湖南工業団地	湖南市	27	新名神甲賀工業団地	甲賀市
14	岩根工業団地	湖南市	合計 27団地		

→ JR草津線沿線に沿って、多くの工業団地(27)が集積

2. 滋賀県南部地域における産業集積の状況について(2/2)

③ 関西圏と東海圏をつなぐ、知的資源と製造業の集積の結節点



① 知的資源の集積 湖南4市(草津市、栗東市、守山市、野洲市)

市	住基人口(R8.4末時点)	面積
草津市	141,704人	67.82km ²
栗東市	70,252人	52.69km ²
守山市	86,011人	55.74km ²
野洲市	50,621人	80.14km ²
合 計	348,588人	256.39km ²
豊橋市	361,979人	261.86km ²

類似

② 製造業の集積 湖南甲賀地域(草津市、栗東市、湖南市、甲賀市)

市	住基人口(R8.4末時点)	製造品等出荷額 (R4.6時点)
草津市	141,704人	10,333億円
栗東市	70,252人	4,180億円
湖南市	54,979人	5,757億円
甲賀市	86,381人	10,935億円
合 計	353,316人	31,205億円
四日市市	304,736人	35,034億円

類似

→ 滋賀県南部地域は、三重県までつなぐ製造業の集積に加え、湖南4市において大学・研究機関等の知的資源の集積が進んでいる。
この本市の強みを生かし、広域な取組を進めていくことが必要。

3. 草津市産業用地創出に向けた具体的な取組

戦略的な企業立地・集積に向けた3つの取組



取組1【新産業創出】(仮称)イノベーション集積拠点の創出

多様な主体の交流・集積による新たな価値(イノベーション)を生み出すオープンイノベーション拠点として、『(仮称)イノベーション集積拠点』の創出

取組2【企業立地】新たな産業用地の確保

市街化調整区域における地区計画制度の運用基準の見直しや、農業用ため池の利活用による新たな産業用地の確保

取組3【企業誘致】高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成

本市が将来にわたって持続可能なまちとして発展し続けるため、本市の強みを生かした『高付加価値を生み出す産業集積エリア』の形成

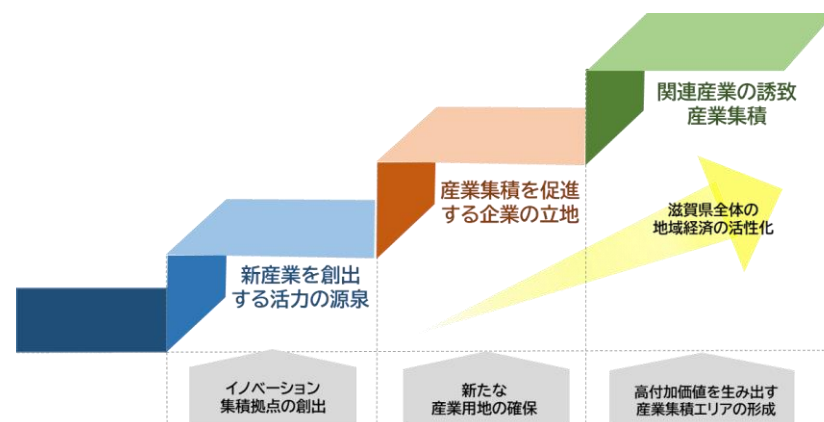
本市の目指す姿

『戦略的な企業立地・集積による地域経済の活性化』

取組1では、ディープテック系のスタートアップや企業のR&D部門のラボ集積 (ex: AI・ロボティクス、半導体分野等)を行い、産官学金連携によるオープンイノベーションを促進することにより、新産業を生み出す活力の源泉の創出を図ります。

取組2では、産業用地の確保により地域企業等の経営基盤の強化を図るとともに、産業集積を促進するために中心となる企業を立地することで、誘致すべき業種における生産基盤の提供による技術革新と生産効率の向上を図ります。

取組3では、取組1・2を踏まえ、本市が将来にわたって持続可能なまちとして発展し続けるため、関連産業を誘致し、高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成を図ります。



本市は、この3つの取組による戦略的な企業立地・集積により、本市の経済発展にとどまらず、**滋賀県南部地域の強みを生かした都市間連携による産業クラスターを形成**し、その経済効果が滋賀県全体に波及されることで、地域経済が活性化することを目指します。

4. 「イノベーション集積拠点」を核とした新たな「地域産業クラスター」の形成(1/2)

① 産官学金の連携による「イノベーション集積拠点」の創出



➤ 産官学金の各取組内容

(産)関西経済連合会とイノベーション分野の連携

草津市と**関西経済連合会による連携協定**の締結
(令和8年4月)

(官)地域共創による社会実証実験フィールドの提供

スタートアップ等の**社会実装に向けた規制緩和**の推進

(学)大学等、中小機構と連携した スタートアップエコシステムの形成

大学発スタートアップ企業の成長支援体制の確保
(**ポストインキュベーション**)

(金)地域金融・VCによる中堅・中小企業と スタートアップ企業支援

地域金融機関による地方創生の取組の連携
(拠点創出に向けた事業化検討パートナー)

→多様な主体が集積し、イノベーションを推進する拠点を創出することにより、
地域の**中堅・中小企業・スタートアップ**の成長加速化を図る。

4. 「イノベーション集積拠点」を核とした新たな「地域産業クラスター」の形成(2/2)

②「地域未来戦略」による地域産業クラスターの形成



➤ 取組の方向性

・地域特性を活かした産業集積

学術研究機関×機械製造業の集積を活かしたAI・ロボティクス半導体分野等の新たなクラスター形成(検討中)

・県南部地域の産業分野における都市間連携

JR草津線沿線市で、**広域立地適正化計画の策定**を目指す

・産業用地の確保による災害時の冗長性確保

地震による津波等や台風による被害が少ない産業用地の確保(畿央地域)

・活発な投資誘致力の維持向上

国の補助実績(R3～R7)

1位:熊本県、2位:三重県、**3位:滋賀県**

→滋賀県南部地域が連携し、地域特性を活かした新たな地域産業クラスターを形成することにより、**国土の重要製造拠点化を図る。**

5.候補地(案) (1/2)



5.候補地(案) (2/2)



地番	草津市大路二丁目133-1 外
所有者	草津市土地開発公社および草津市
最寄駅からのアクセス	JR草津駅東口より徒歩7分 (約600m)
バス停の有無	有(最寄りバス停より徒歩2分)
用途地域	市街化区域(商業地域)
建ぺい率 容積率	80% 400%
面積(概算)	約1.4ha
特徴	・JR草津駅から徒歩圏内 ・周辺に商業施設(飲食店等)が集積
課題	・前面道路幅員が狭い(市道大路4号線) ・周辺の交差点(県道草津停車場線・市道草津駅前線)が狭い